

三九三三番

ありさりて 後も逢はむと 思へこそ 露の命も
継ぎつつ渡れ

三九三四番

なかなか 死なば安けむ 君が目を 見ず久な
らば すべなかるべし

三九三五番

隠り沼の 下ゆ恋ひ余り 白波の いちしろく出
でぬ 人の知るべく

三九三六番

草枕 旅にしばしば かくのみや 君を遣りつ
つ 我が恋ひ居らむ